

作品講評【応募資格3】

※審査員特別賞は審査員を代表してイツキ氏に講評いただきました。

賞	受賞者氏名	作品名	審査員講評	
グランプリ	遊風 さん	僕のさいきょうアイテム！	Oguro Takuya 氏	独自の世界観、圧倒的な配色センス、あまりにも可愛すぎるデフォルメ、かと思いきや圧倒的書き込み量の靴、一枚の絵としてのまとまり、完成度があまりにも最強すぎました。圧倒的です。影を漫画で使うようなトーンのように表現してるのもすごく面白いです。どのような経歴でこの絵柄に辿り着いたのか、とっても気になります。文句なしのグランプリです。
			イツキ 氏	色彩・絵柄の確立・モチーフの配置、どれも最高だと思いました！ 夢を追いかけることの楽しさを全面に押し出していて、ずっと見ていると心の底からワクワクが溢れ出てきます。
			ピカタ 氏	まさに最強と言わざるを得ないくらいの構図感や色感でした。私も最強アイテムを探し出したいです。
			おにぎりまん 氏	キャラデザイン表現に統一感があり、一目で作家性が確立されているという安定感を感じました。ポップなラインとビビッドな配色が非常にマッチしていて、夢という題材を後押しする力強さを生み出していい印象を受けました。
			Sen 氏	すばらしくまとまった作品だと感じました。自分の絵として洗練されていて画面でのデザインの散らし方も素晴らしいかったです。見ていてこれを使ってあれをするのかな、これをするのかなってという想像をさせてくれるイラストの落とし込み方で感銘を受けました。
			CRYBORG 氏	人は一人では生きていけないという言葉がありますが、生きていく中においては魂が無いとされているもの、つまり無機物とされているものの力を借りないとも出来ません。そういうものを単に「道具」や「武器」としか見てない人も多く居ますが、「相棒」という見方をした上でキラキラにさせた上で画面上で一緒に舞っているような構図にしたところに凄く魅力を感じます。軽快な色使いでありながら、相棒達とのとても重厚で確かなアツい絆がしっかりと描かれており、その両方が画面の中で展開されているのがとてもスタイリッシュでありながら色んなストーリーを展開できる余地を残しているのが素晴らしいと思いました。あなたの相棒との物語がこれからどんな風に進んでいくのか、とても気になります。
準グランプリ	Takuma さん	夢の世界の生き物	Oguro Takuya 氏	様々な生き物を、多種多様な色で表現されておりとても目を惹かれました。実際の動物の配色と、そこに一部だけあえて独自の色味でエッセンスを入れる画風が、唯一無二でとても強い武器だと感じました。生物多様性が求められるこのご時世、あなたの絵で世界を少しでもいい方向に変えていけるんじゃないか、そんなふうに思わされた作品でした。
			イツキ 氏	「夢」というテーマを他の応募者とはまた別の捉え方をされていて、特に目立っていた作品でした。 個性的な色遣いが上手くまとまっています。 動物が本当に好きなんだって伝わってきます！
			ピカタ 氏	こちら、私、とんでもなく素敵な作品だとも一目見て胸撃ち抜かれた作品です。緻密に描き込まれたのがスタンドグラスのようで、最高にグッドです。
			おにぎりまん 氏	デザインの素晴らしいだけでなく、動物の尺度や毛並みの描画表現などの法則性が複雑で、作品内の動物を描写するにあたって法則性はあったのかそれとも感性で描き切ったのか気になり、気づくとこの作品についてもっと知りたいと思っていました。そうした知的好奇心を刺激される魅力を感じます。
			Sen 氏	動物に差し込む色みや全体的なスタンドグラスのような印象に惹かれました。模様にこういった視点から表現していく面白さを感じます。特に鳥類の模様表現と魚に対してのこだわりを感じる、着眼点がとても面白く素晴らしい作品でした。
			CRYBORG 氏	ここにはたくさんの優しさを色んな人が持ってきてくれました。自分を変える事に対する難しさを理解する優しさ、そこを乗り越える事の喜びを分け合う優しさ、或いは将来の自分への期待を周りに伝播させる優しさなどを形にしてあたし達に見せてくれました。しかし世界を変える優しさとなると、ただでさえ他人を変える事は難しいのに、もっとスケールの大きな労力や、或いは思い通りに物事が進まない絶望なんかも背負う事を意味すると思います。しかし、そこすらも乗り越えた生物が持つ多様な美しさの一つの希望を託したあなたの絵はとても存在感が凄く、それを作ったという行為自体があなたの勇敢さを物語っていて、あたしはそこに強く惹かれました。描かれている子供の身体に混ざった色彩豊かな色は、この世に生きる数多の魂の色と共鳴しているように思います。それを優しく見守るあなたの目を通してなら、きっとどんなものだって美しく、自由に息をする事が出来るのではないかな。
審査員特別賞	飯田花凜 さん	届け、私の音	イツキ 氏	必死にギターを弾く女の子の表情に惹かれます。髪にアクセントのあるインナーカラーを入れることですぐに顔に目がいきます。 人物やモチーフを描き上げる技術が非常に高いので、ストーリー性を磨いたらもっと良くなるんじゃないかなと思いました！ ギターに好きなバンドのステッカーを複数貼る、こちらに見向きもしない通行人を描く、人物の上の常夜灯に照らされ、何時間も弾いてたのかな…と思わせる などなどアイデアは無限に溢れていると思います！